

きれいな水をありがとう

西山 心琴

福岡市立 西花畑小学校

わたしは、ふだん使っている水がよごれているじょうたいからきれいになるまで、多くのしくみで何時間もかけて作っていることを下水道で働く方に教えてもらい、とてもびっくりしました。

まず、家庭などから出たよごれている水を沈砂池で大きなごみを約一分でしずめます。次に、最初沈殿池で小さなごみを約三時間もかかってしずめます。そして、生物反応槽では約七時間で生物がよごれを食べてくれます。ここでの働く生物たちは、アメーバ、ツリガネムシ、イタチムシ、アスピディスカなどが活躍しています。その後、最終沈殿池でよごれを食べた生物を約三時間でしずめ、さいごに消臭槽で約三十分して、よごれている水がきれいな安全安心の水になります。このようにして、下水道で働く方が工夫した機械、そして大活躍する微生物たちが約十三時間三十一分もかけ、協力してきれいにした水なので、一てきだけでもむだにしないように大切にしていきたいです。

次に、下水道の方がぜったいに流してはいけない物について三つ教えてもらいました。一つ目は、ティッシュペーパーです。ティッシュペーパーは、トイレトーパーとくらべてものすごくとけにくいのでつまってしまうのです。二つ目は、油です。油は、きれいな水にするために水をたくさん使ってしまうます。三つ目は、せんざいです。せんざいは、流すとトイレがあわだってしまうます。トイレは、トイレトーパーしか流してはいけないのです。わたしは、トイレの

時、トイレトーパーがなくて、自分が持っていたティッシュペーパーを流してしまったことがありました。だから、知ることができて良かったです。

下水道のことを知って気を付けようと思ったことは、まず油をトイレや台所に必ず流さないことです。び生物は油が苦手なのでび生物もみんなもこまってしまうます。そして、せんたくする時、どろや紙くずなど排水口に流すと下水道をつまらせる原因になってしまうます。下水道がつまると、水をきれいにできなくなってしまうます。他にも、こまめに水道のじゃ口をとめたり、水遊びなどはひかえめにしていきます。わたし達の取り組みで少しでも水の使うりようをへらせるとうれしいです。び生物、下水道の方達が何時間もかけてきれいにしてくださった水なので、わたしも協力していきます。そして、飲み水、お風呂、トイレなど、きれいな水を毎日使えています。そんな日々に、きれいにしてくれた人、生き物、そして、水にかんしゃの気持ちを持っています。